

株主・投資家の皆様へ

第27期 2011年4月1日 ▶ 2012年3月31日

トランスコスモス通信



Your Global IT Partner.

あなたの、グローバルITパートナーを目指して。

[経営の基本理念]

お客様の満足が大きさが我々の存在価値の大きさであり、
ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。

① お客様企業へのコミットメント

- 常に世の中の技術動向を把握し、人と技術の融合により付加価値と品質の高いサービスを継続的に提供する。
- お客様に信頼される真のパートナーシップを構築する。

② 社員へのコミットメント

- 社員は無限の可能性を秘めた最大の資産であり、個人の成長に必要な教育支援を惜しまない。
- 機会は公平に与え、実績と能力によって適正な報酬と新たな成長の機会を提供する。

③ 社会・株主へのコミットメント

- グループの成長により株主価値を高めるとともに、社会の進歩に貢献する。

**trans
cosmos**
people & technology

トランスコスモス株式会社

証券コード:9715

2012年3月期の取り組みについて

当社グループが展開する情報サービス業界では、企業のIT投資は全体としては慎重姿勢が続いていたものの、クラウドコンピューティング、ビッグデータの活用といった新たな需要もあって一部では投資再開の動きが見られました。また、日本企業の海外進出が加速する中、国際競争力の強化を目的とした経営・業務改革への関心が一層高まり、その施策のひとつとしてBPO（業務プロセスアウトソーシング）の需要が高まっております。また海外市場では、引き続き経済成長の高いアジア地域を中心にアウトソーシング需要が拡大しております。当社グループでは、このような環境をビジネス拡大の好機と捉え、企業の売上拡大とコスト削減を国内とグローバルの両面でサポートできる体制強化に取り組みました。

連結
売上高

161,208 百万円

前期比
6.3%
UP

連結
営業利益

8,719 百万円

前期比
38.4%
UP

連結
当期純利益

4,969 百万円

前期比
11.2%
UP

EC・ソーシャルメディア関連サービスの拡充

市場規模が拡大傾向にあるEC（eコマース）市場への取り組みとして、EC運用業務の現場の声を基に開発したECサイト構築エンジン「MCM EC Builder」（エムシーエム イーシー ビルダー）の提供を開始しました。さらに、企業の関心の高いソーシャルメディア関連において、平成23年5月のソーシャルメディア運用サポートサービスの提供開始を皮切りに、米国 Wildfire Interactive Inc.との提携によるソーシャルメディアマーケティングプラットフォーム「ソーシャルマーケティングスイート」の日本国内でのサービス提供開始、さらにソーシャルメディアの運用を専門に行う「渋谷ソーシャルメディアセンター」を本社ビル内に開設するなど、将来を見据えたサービス体制の拡充に取り組みました。

BPOサービスの グローバルデリバリー体制を確立

企業のコスト意識への高まりやIT投資の一部再開の動きに合わせて、システム運用業務や、受発注、経理・人事業務といったバックオフィス業務のアウトソーシングサービスの販売を積極的に推進しました。さらに、国内拠点と海外のオフショア拠点との連携を深め、オンサイト・ニアショア・オフショア型でサービス提供が可能なグローバルデリバリー体制を整備し、あ

らゆる企業ニーズに柔軟に対応できる体制強化に取り組みました。

アジア言語圏・英語圏・ ヨーロッパ言語圏に対応

アジア市場での需要拡大と、増加する日本企業の海外進出を幅広くサポートできる体制を強化しました。具体的には、韓国に7拠点目となる新コールセンターを開設、また多言語でのサポート対応を充実させるため、イギリスのBPO企業であるMerlin Information Systems Group Limited（本社：イギリス バックingham）と業務・資本提携を行いました。この業務・資本提携により、これまでの中国・韓国・タイなどのアジア言語圏に加え、英語圏・ヨーロッパ言語圏など18言語に対応したコールセンターサービスの提供が可能となりました。

2013年3月期の取り組みについて

お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場での事業展開を加速させ、当期実績を上回る業績を確保することを目指します。なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化

○ トップメッセージ

の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの2013年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため公表しておりません。

株主・投資家の皆様へ

2012年3月期の配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株当たり37円とすることを第27回定時株主総会でご承認いただきました。また、2013年3月期の配当につきましては、現時点では未定としておりますが、具体的な配当金額が決定した時点で速やかに公表いたします。

引き続き、株主および投資家の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



2012年6月
代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

トピックス ○

2011

11月 韓国コールセンター子会社、7拠点目となる新センターを開設

韓国で主にコールセンターサービスを提供する transcosmos Korea Inc.は、センター稼働率の向上に加え、流通系コールセンター業務の新規受注に伴い、同国7拠点目となる新センターを設立。2011年12月中旬より業務を開始。



2011

12月 イギリスBPO企業メルリンと業務・資本提携

イギリスのBPO企業であるMerlin Information Systems Group Limitedと業務・資本提携。本提携により、これまでの中国・韓国・タイなどのアジア言語圏に加えて、英語圏・ヨーロッパ言語圏など18言語に対応したコールセンターサービスの提供が可能。



2011

11月 ECサイト構築エンジン「MCM EC Builder」提供開始

お客様企業に提供してきたEC運用業務において培った経験とノウハウを基に「MCM EC Builder」を開発。管理・制作・広告・分析など、EC運用視点の経験とノウハウを凝縮した機能を搭載し、EC事業を展開するお客様企業の課題解決と管理業務の効率化をサポート。

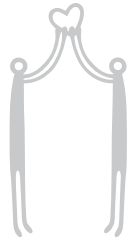


2012

3月 中国コールセンター子会社、北京センターを拡張移転

中国でコールセンター事業を展開するトランスコスモスCC Chinaは、今後ますますの発展が見込まれる北京市場において30席の拡張を伴う移転を実施。新しく設立した北京センターは、北京の中心地、二環中に位置し、営業拠点としての機能も強化。





業務プロセスアウトソーシングサービス

人事・総務・経理といったコーポレート業務、物流や受発注などのフルフィルメント業務など、企業のバックオフィス業務のアウトソーシングサービスを提供します。

**物流・受発注、人事・経理・バックオフィス、
建築設計・社会インフラ設計**

エンジニアリングソリューションサービス

機械設計、組込み開発など製造業を中心とした企業の設計部門において、設計・解析・実験、試作、生産技術の工程を幅広く支援するアウトソーシングサービスを提供します。

機械設計・組込み開発

ITアウトソーシングサービス

ITシステムの企画、開発、導入、運用、サポート、資産管理など、企業の情報システム部門などが担うIT業務全般を支援するアウトソーシングサービスを提供します。

システム開発、ヘルプデスク・システム導入・クラウド・IT資産管理

コールセンターサービス

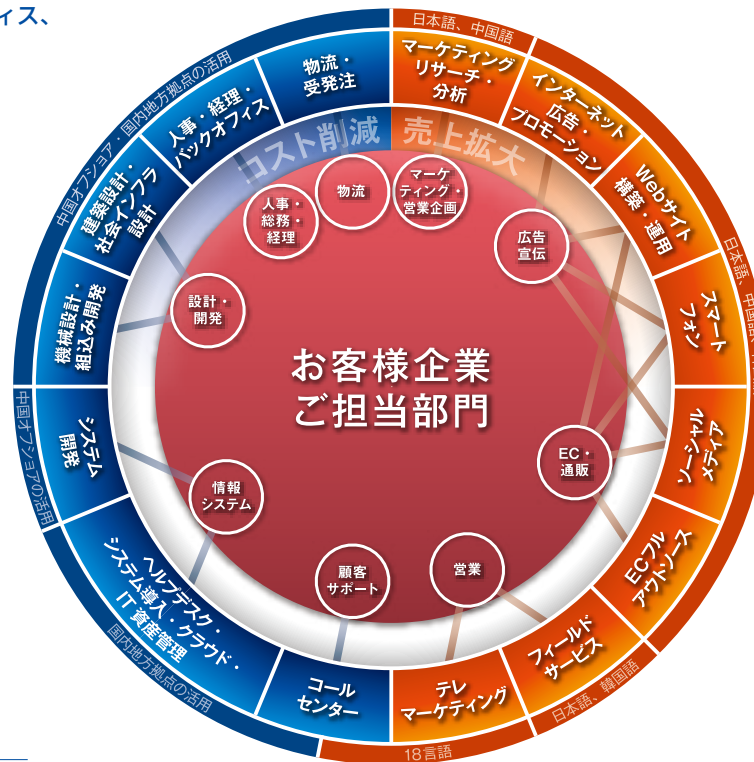
企業が提供する商品・サービスにおいて、顧客からのお問い合わせや苦情などの受電業務、各種案内やセールスなどの架電業務など、顧客サポート・営業業務のアウトソーシングサービスを提供します。

**コールセンター、テレマーケティング、
フィールドサービス**



トランスコスモスのアウトソーシングサービス

当社グループは、お客様企業の事業パートナーとして、売上拡大とコスト削減を総合的かつグローバルに支援するアウトソーシングサービスを提供しております。



マーケティングリサーチ・分析サービス

コールセンターへの問い合わせ内容やソーシャルメディアでの会話といった顧客の声の分析、ビッグデータの活用など、企業のマーケティング業務の効率化を支援します。

デジタルマーケティングサービス

インターネット広告から効果分析、マルチデバイスに対応したWebサイト構築・運営、ソーシャルCRMなどのデジタルマーケティングサービスをワンストップで提供します。

**インターネット広告・プロモーション、Webサイト
構築・運用、スマートフォン、ソーシャルメディア**

BtoC事業

3Dバーチャルコミュニティ「meet-me」をはじめ、フジサンケイグループ、日本テレビグループなど日本の各分野のトップ企業とのコンソーシアムによるインターネット事業を展開します。

ECサービス

ECサイトの戦略立案から構築、運用、プロモーションなど、お客様企業のEC・通販ビジネスに必要な各種サービスをワンストップで提供します。

ECフルアウトソース

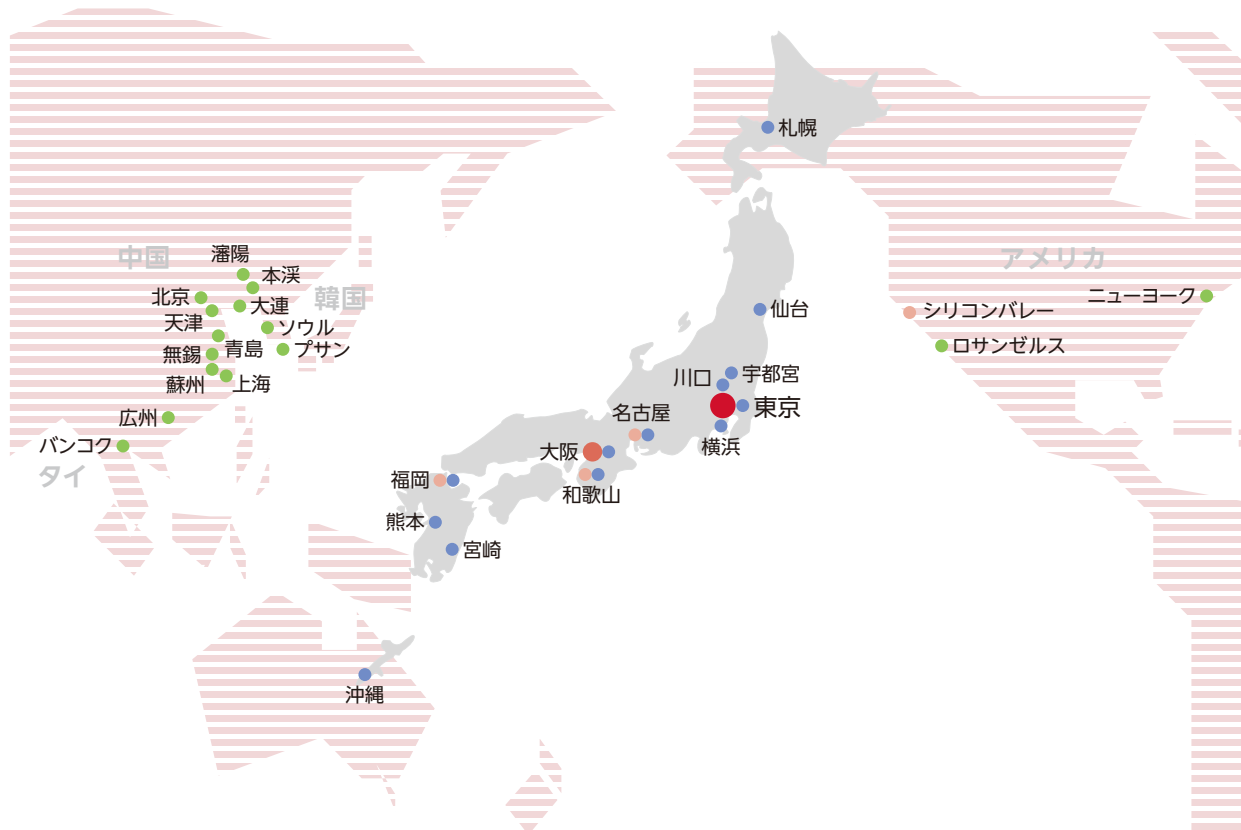


海外サービス

中国、韓国などアジアを中心に各国で事業展開している企業(現地・日系・外資等)に対して、現地向けコールセンター、デジタルマーケティングサービスなどを提供します。また海外拠点を活用し、日本企業向けに低コスト・高品質なオフショア・アウトソーシングサービスを提供します。

国内・海外拠点 ○

当社グループは、お客様企業のビジネスを世界規模でサポートしています。
ITコミュニケーションのエリアは、アジアや北米に拡大しています。



| | | | | |
|------|----------------|-------------------------|----------------|------------------------|
| ● 本社 | ● 国内サービス拠点 | 42拠点 | ● 海外サービス拠点 | 27拠点 |
| ● 本部 | ・コールセンター | 22拠点 (シート数合計:12,160) | ◎グローバル・コールセンター | 13拠点 (シート数合計:5,080) |
| ● 支社 | ・デジタルマーケティング | 3拠点 | ・デジタルマーケティング | 3拠点 |
| | ・ソーシャルメディアセンター | 1拠点 | ◎オフショア | 4拠点 |
| | ・BPOセンター | 13拠点 | ・BPOセンター | 4拠点 |
| | ・MSPセンター | 2拠点 | ・システム開発 | 5拠点 |
| | ・IDC(データセンター) | 1拠点 | ・設計支援 | 2拠点 |

2012年3月現在

導入事例 ○

株式会社田谷(TAYA) 様

ヘアサロン業界初iPhone®アプリケーション開発
美容師と顧客のマッチングによって
顧客満足度を高める

▶ デジタルマーケティングサービス

| | |
|-------------------------------|---|
| ● 課題 顧客満足度 とリピート 率向上 | ● 導入サービス スマートフォン・ータルソリューション、 スマートフォン向けサイト構築、アプリ開発、 顧客利用実態(U&A)調査 |
|-------------------------------|---|

成果

- ①ヘアサロン業界初のiPhone®マッチングアプリケーション開発
- ②エンターテインメント性の高いコンテンツで顧客と美容師の絆づくりをサポート
- ③顧客満足度の向上に貢献

業界初のエンターテインメント性の高い
アプリでお客様との絆が深まりました。

美容師とお客様の絆を深めるiPhone®アプリケーションの開発は、業界でも初めての取り組みでしたが、さまざまなアプリケーションの開発実績を多数お持ちのトランスコスモスさんだから安心してお任せできました。お客様に満足いただくためのコンテンツづくりには試行錯誤を重ね、幾度となく意見交換を交わしました。アプリケーションに登場する美容師にも細かいアンケートを実施したのですが、特徴を引き出すための質問設定からデザイン立案まで、細部にわたるリクエストにも柔軟に対応いただき、とても満足の一部のものができました。

今後もお客様の嗜好やライフスタイルなどをとらえたコンテンツの拡充や分析データの活用など新たなご提案を期待しています。

お客様
からの声

TAYA



株式会社田谷(TAYA)
執行役員 管理部
システムグループ長
似鳥 昭司 様

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 当連結会計年度末 2012年3月31日現在 | 前連結会計年度末 2011年3月31日現在 |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| ●資産の部 | | |
| 流動資産 | 66,696 | 61,102 |
| 固定資産 | 26,441 | 29,031 |
| 資産合計 | 93,137 | 90,134 |
| ●負債の部 | | |
| 流動負債 | 32,845 | 32,105 |
| 固定負債 | 11,473 | 13,618 |
| 負債合計 | 44,318 | 45,723 |
| ●純資産の部 | | |
| 株主資本 | 47,553 | 43,943 |
| その他の包括利益累計額 | △ 2,236 | △ 2,902 |
| 少数株主持分 | 3,502 | 3,369 |
| 純資産合計 | 48,819 | 44,410 |
| 負債純資産合計 | 93,137 | 90,134 |

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当連結会計年度 2011年4月1日から 2012年3月31日まで | 前連結会計年度 2010年4月1日から 2011年3月31日まで |
|---------------|--|--|
| ①売上高 | 161,208 | 151,687 |
| 売上原価 | 131,598 | 123,799 |
| 売上総利益 | 29,609 | 27,887 |
| 販売費及び一般管理費 | 20,890 | 21,588 |
| ②営業利益 | 8,719 | 6,299 |
| 経常利益 | 8,970 | 6,512 |
| ③当期純利益 | 4,969 | 4,469 |

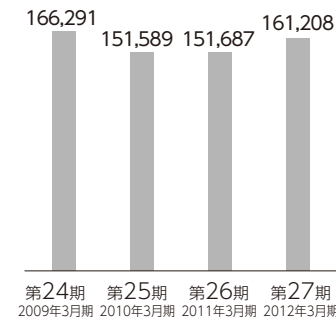
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当連結会計年度 2011年4月1日から 2012年3月31日まで | 前連結会計年度 2010年4月1日から 2011年3月31日まで |
|----------------------|--|--|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 13,282 | 8,875 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 2,002 | 512 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 6,473 | △ 5,523 |
| 現金及び現金同等物 の期末残高 | 35,969 | 31,215 |

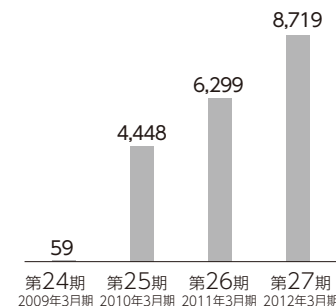
■ 売上高

(単位:百万円)



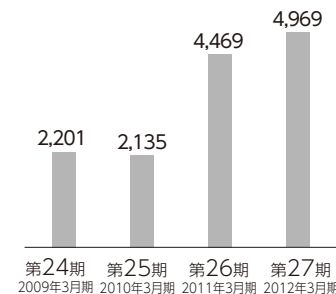
■ 営業利益

(単位:百万円)



■ 当期純利益

(単位:百万円)



① 売上高

当社グループの主力事業である単体サービスの受注が堅調に推移し、また引き続き、韓国・中国を中心とした海外でのサービス需要が拡大するなど、前期比で6.3%の増収となりました。

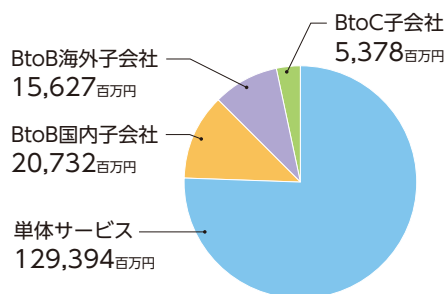
② 営業利益

当社グループの主力事業である単体サービスの収益性は2008年・2009年3月期並みの水準に回復し、他のセグメントは黒字が定着しました。これにより前期比で38.4%の増益となりました。

③ 当期純利益

売上高の増加、収益性の改善により、前期比で11.2%の増益となりました。

■ セグメント別売上高



注)セグメント間取引消去等△9,925百万円は含まず

■ 単体サービス

当社のコールセンターサービスなどを中心としたワンストップのアウトソーシングサービス事業

■ BtoB国内子会社

国内で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

■ BtoB海外子会社

海外で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

■ BtoC子会社

消費者向けインターネットメディアビジネスを展開するグループ会社事業

■■■■■ 渋谷ソーシャルメディアセンターのご案内 ■■■■■

当社は、ソーシャルメディアの運用を専門に行う渋谷ソーシャルメディアセンターを本社ビル内に開設しました。渋谷ソーシャルメディアセンターでは、ソーシャルメディアを活用するお客様企業向けに、ソーシャルメディアへの投稿、ユーザー投稿への回答・サポート、要望や話題・苦情の監視など、ソーシャルメディア運用全般を提供するとともに、広告企画や調査・分析などの付加価値サービスもあわせた業務ノウハウを集約し、当社の他拠点で提供している関連サービスを統括する役割を担っています。



当社は、ソーシャルメディアの運用を専門に行う渋谷ソーシャルメディアセンターを本社ビル内に開設しました。渋谷ソーシャルメディアセンターでは、ソーシャルメディアを活用するお客様企業向けに、ソーシャルメディアへの投稿、ユーザー投稿への回答・サポート、要望や話題・苦情の監視など、ソーシャルメディア運用全般を提供するとともに、広告企画や調査・分析などの付加価値サービスもあわせた業務ノウハウを集約し、当社の他拠点で提供している関連サービスを統括する役割を担っています。

株主
優待制度の
ご案内

毎年3月末に当社株式を1,000株以上保有されている株主様を対象に、株主優待ポイントとして一律1,000ポイントを贈呈し、ポイントを当社センター所在の11地域から厳選した「日本全国こだわりの味」や、「社会貢献活動の寄付」に交換いただいております。また、「がんばろう 東北!」と題した東北地方の特産品を盛り込んだ優待品や、日本赤十字社を通じて東日本大震災の義援金としてご寄付いただける優待品も取り揃えております。

詳細は2012年6月上旬にお送りしている優待カタログをご参照ください。



よき企業市民として ~ CSR活動の取り組み~

当社が経済・社会の発展に貢献し、責任ある企業活動を行い社会的責任(CSR)を果たしてゆくことは、ステークホルダーの皆様にご信頼され、社会的価値創造を実現し続ける、全員参加の当社の企業活動そのものです。ここでは、事業プロセスの一環として展開する事例をご紹介します。

● 環境活動

グリーン電力証書購入により「グリーン電力化」を導入

● グリーン電力とは・・・

「風力」、「太陽光」、「中小水力」、「バイオマス」、「地熱」などのグリーンエネルギーで発電された地球に優しい電力を指します。

渋谷本社ビルの1Fおよび13Fは、群馬県の木質バイオマス発電所から発電されるグリーン電力(CO₂を発生しない電力)を使用することといたしました。

当社は、社会貢献活動の一環としてグリーン電力を使用し、地球温暖化防止に貢献します。



グリーン電力相当量:99,000kWh
 発電種別:バイオマス(木質)発電
 利用期間:2012年4月1日~2013年3月31日
 利用場所:当社渋谷本社ビルの1Fおよび13F
 認証発行事業者名:株式会社吾妻バイオパワー

● バイオマス発電の効果・・・

地球温暖化防止

化石燃料の代替として、再生可能エネルギー(グリーン電力)を利用

森林保全

森林から出てくる間伐材・残廃材などをチップ化し、燃料として有効活用

エネルギー自給率の向上・有効活用

グリーンエネルギーの中でも発電効率、発電量ともに最も安定的、効率的

会社概要 (2012年3月31日現在)

| | |
|--------|--|
| 会社名 | トランスコスモス株式会社 |
| (商号) | (トランス・コスモス株式会社) (transcosmos inc.) |
| 設立年月日 | 1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日) |
| 資本金 | 290億6,596万円 |
| 従業員数 | 単体:8,046名 グループ:15,276名 |
| 主要取引銀行 | 三井住友銀行 みずほコーポレート銀行 三菱東京UFJ銀行 |
| 本社 | 東京都渋谷区渋谷3-25-18 〒150-8530 TEL.03-4363-1111(大代表) FAX.03-4363-0111 |
| 大阪本部 | 大阪府大阪市北区梅田3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル 〒530-0001 TEL.06-6457-1600(代表) FAX.06-6457-1601 |

株式の状況 (2012年3月31日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 150,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 48,794,046株 |
| 株主数 | 22,885名 |

大株主の状況 (2012年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 奥田 耕己 | 7,498 | 15.37 |
| 奥田 昌孝 | 5,910 | 12.11 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,108 | 4.32 |
| 公益財団法人奥田育英会 | 1,753 | 3.59 |
| 平井 美穂子 | 1,463 | 3.00 |
| THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT | 801 | 1.64 |
| 有限会社HM興産 | 722 | 1.48 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 689 | 1.41 |
| トランス・コスモス社員持株会 | 580 | 1.19 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103 | 461 | 0.94 |

注) 1. 上記のほか、当社が自己株式7,649千株を保有しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は、小数点第三位を四捨五入により表示しています。

役員構成 (2012年6月27日現在)

| | |
|--------------------|--|
| 代表取締役グループCEOファウンダー | 奥田 耕己 |
| 代表取締役会長兼CEO | 船津 康次 |
| 代表取締役社長兼COO | 奥田 昌孝 |
| 取締役副社長 | 石見 浩一 |
| 専務取締役 | 向井 宏之 |
| 上席常務取締役 | 森山 雅勝 永倉 辰一 牟田 正明 |
| 社外取締役 | 夏野 剛※ 瀧浪 壽太郎※ 吉田 望 |
| 常勤監査役 | 石岡 英明 |
| 監査役 | 高尾 吉郎 渡邊 和志※ 中村 敏明※ |
| 常務執行役員 | 貝塚 洋 高野 雅年 清水 賢 中山 国慶 河野 洋一 本田 仁志 |
| 執行役員 | 早見 泰弘 多田 真之 山喜 和彦 井上 博文 長谷川 勉 下總 邦雄 |

※独立役員として東京証券取引所に届出しております。

株主メモ

| | |
|-----------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 (中間配当 毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 東京都府中市日鋼町1番10 〒183-8701 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-176-417 |
| (インターネット)(ホームページURL) | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 当社のホームページに掲載する。 http://www.trans-cosmos.co.jp |

※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

●ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっています。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記電話照会先にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。